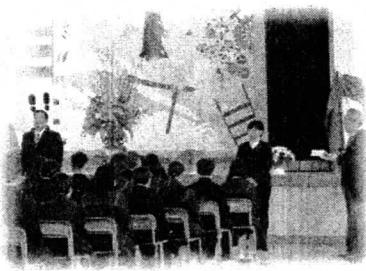




## 学級発表の様子



## 学年担当職員の発表

四月四日（木）  
新入生二〇五名を迎えて、  
平成三十一年度入学式を執り  
行いました。

平成三十一年度  
東部中学校入学式

## 新入生 二〇五名を迎える新たなスタート

北澤嘉孝校長は、式辞の中で

一、友達をたくさんつくること  
二、よく勉強する生徒になること  
三、自分を大切にすること

を示し、「時代が大きく転換しようとする中、新入生がそれぞれの可能性を大きく広げ、夢や志の実現に近づく中学校生活を送つてほしい」と期待を伝えました。

新入生代表の石井沙季さんは、「日々懸命に学び、友達と助け合いながら充実した中学校生活を送りたい。自分で計画を立て、目標を持つて取り組み、友と切磋琢磨しながら成長できるよう努力したい」と抱負を語りました。

島田和明PTA会長からは「生涯続く友人や思い出を作れるよう、楽しんでほしい。先生は、自分とは違う観点から方に向性を示してくれる。部活動や生徒会活動で人間関係をつくりつてほしい。一日一日を大切にして、様々なことに挑戦していいってほしい」とエールを頂きま



3年生徒会役員による校歌で歓迎

新任職員

教頭国語	社会数学	数学	理科	音楽	小林誠	唐木英俊
初任指導	事務	事務	事務	保育	原知弘	新規採用
府務	英語	保育	美術	小林悠哉	須坂市立墨坂中学校	長野市立教育委員会学校教育課
太田	北沢	田崎ゆみ子	伊藤航	飯田雄太	中山美穂	千葉県流山市立東部中学校
守	穀	木村なおみ	道雄	宮本道雄	田中勇	長野市立若穂中学校
長野市立大豆島小学校	長野市立芹田小学校	長野市立北部中学校	長野市立裾花中学校	長野県総合教育センター	長野県長野養護学校	長野市立北信労政事務所
(兼務)						

転任職員

教頭	國語	数学	社会	山本 悟	長野市立三陽中学校
事務	英語	理科	北村 聰	小山くみ子	東御市立東部中学校
事務	保体	音楽	樋口 南保	重山 正志	下諏訪町立下諏訪中学校
事務	美術	理科	佐々木直人	和真	長野市立篠ノ井東中学校
事務	保体	数学	田島 立子	小諸市立芦原中学校	小谷村立小谷中学校
事務	英語	社会	矢島 風間	長野市立城山小学校	長野市立川中島中学校
事務	保体	北村	野口 陽造	長野市立丸子中学校	長野市立丸子中学校
事務	英語	聰	竹腰 守	上田市立丸子中学校	長野市立丸子中学校
事務	保体	樋口	京子 拓哉	長野市立柳町中学校	長野市立柳町中学校
事務	美術	南保	松永 長野市立吉田小学校	阿南町立大下条小学校	阿南町立大下条小学校
事務	保体	正志	守 長野市立松ヶ丘小学校	長野市立松ヶ丘小学校	長野市立松ヶ丘小学校

# 本年度の部活動の運営方針

## 【概要】

※土日とも活動を行った場合は、できるだけ翌週の週休日に

本校の運営方針として、「長野県中学生期のスポーツ活動指針」に沿った運営とします。

①活動時間について

(平日) : 総活動時間は2時

間程度とする。ただし、大会2週間前は、長くても3時間以内とする。

(週休日) : 午前、午後にわたらぬようにし、半日×1日とする。ただし、実際の活動時間は長くとも3時間程度にする。

②休養日について

(平日) : 少なくとも1日設定する。原則として、水曜日をノーブル活デーとする。

(週休日) : 少なくとも1日設定する。

③朝の活動について

※原則として朝の活動は行わない。以下の期間については、申し出た部活のみ実施を認める。(夏季) : 本大会前2週間前(シード決めの大会、中体連

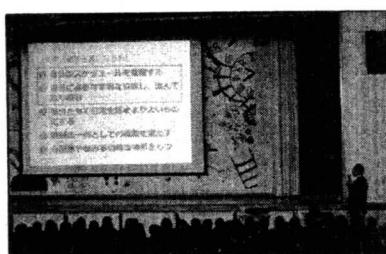
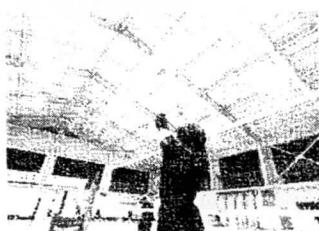
連主催の大会やコンクールの約2週間前に関しては、勝ち進めば上の大会が連続するので、土日の両日を活動してもノーブル活デーが1日のみになる場合がある。ただし、その試合の期間に設定できなかつた休養日を、別日に必ず確保するようにする。

⑤大会への参加方針

- ・年度当初に生徒、保護者に参加予定大会とその期日等を連絡する。

- ・大会や練習試合等への参加については、保護者の自家用車への乗り合わせ等での移動は行わない。(公共交通機関、借り上げバス等を使用する)

上



学習オリエンテーション

校長がプロジェクトの説明をしました



## 校長室より

(冬季) : 放課後の練習時間が1時間確保できない場合

④長期休業中の活動について

できるだけ平日の活動とし、休養日は全休業日の1/2以上

の日数を確保する。

平成最後、そして令和最初の年度が始まりました。本年度もよろしくお願ひいたします。さて、本校では本年度「Look East Project」を立ち上げました。夢や志の実現に向けて、自分の進む道を見定め、自ら道を切り拓いていく力を育むことをめざした、新しい学校づくりへのチャレンジです。「Student First (学習者本位)」を合言葉に、生徒が思考し、判断し、表現する機会に溢れた学校、生徒の自己肯定感を高める学校をつくってまいります。具体的な取組内容については、これまでもホームページでお知らせしてきた通りですが、一番大切なことは、学校の役割の明確化と意識改革だと思っています。

学校の使命は、生徒が将来、社会で生きていく上で必要となる自立と協働の力を育てることがあります。そのため学校ができるることは何かを考え、試行錯誤を繰り返しながら持続可能な体制を創り上げていきたいと思します。もちろん学校だけでできることは限られています。ご家庭や地域と連携して、生徒が自分の未来を自分で切り拓いていく学習環境を整えていきたいと考えていますので、引き続きのご理解とご協力、ご支援をよろしくお願いいたします。